

「持続可能な地域であるための仕組みづくり」

現場主義をモットーに活動を続けてきた「ちば自治体法務研究会」も今年で25周年を迎えます。この間自治体を取り巻く環境は、地方分権改革や平成の大合併、さらに東日本大震災を経て大きく変わりました。このような自治体現場で、市民と共に地域づくりに取り組んできた自治体職員として本フォーラムを開催いたします。

さて、少子高齢化が一層進み、厳しい経済環境の中、それぞれの自治体は持続可能な地域であるために様々な取組みを行っています。そのような状況下、特に3.11を踏まえた危機管理や、今後の地域経営のかたちなど、現場を踏まえた議論を当事者の目線で進めていきたいと考えています。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

第1部 基調講演

(13:00~13:50)

「人口減少時代のこの国のかたち」

森田 朗 (国立社会保障・人口問題研究所所長)

第2部 パネルディスカッション

(14:00~16:00)

【第1分科会】

「自治体の子育て支援を考える～新制度は子育ての救世主となり得るか～」

- コーディネーター 出石 稔 (関東学院大学法学部教授)
- パネリスト 師岡 章 (白梅学園大学子ども学部教授)
- 松田 妙子 (NPO法人せたがや子育てネット代表理事)
- 久住 智治 (文京区男女協働子育て支援部長)

【第2分科会】

「東日本大震災から学ぶこと～切り抜ける、備える政策法務～」

- コーディネーター 牛山 敦 (元千葉県総務部政策法務課副参事)
- パネリスト 鈴木 庸夫 (明治学院大学法科大学院教授)
- 新宅 秀樹 (浦安市健康福祉部長)
- 戸村 利 (元山武市経済環境部長)
- コメンテーター 橘 幸信 (衆議院法制次長)

【第3分科会】

「市民協働の地域づくり～場面により協働の在り方は違う～」

- コーディネーター 関谷 昇 (千葉大学法政経学部准教授)
- パネリスト 野平和 男 (ボランティア集団山人代表)
- 鎌形 善枝 (住民自治協議会役員)
- 平野 靖 (香取市地区担当職員)
- コメンテーター 小川 有美 (立教大学法学部教授)

【第4分科会】

「空き家問題を考える」

- コーディネーター 宮崎 伸光 (法政大学法学部教授)
- パネリスト 土田 ひろみ (文京区危機管理室危機管理課長)
- 林 忠臣 (山武市経済環境部環境保全課長)
- 榎本 好二 (市町村アカデミー調査研究部研究主幹・相模原市派遣)
- コメンテーター 北村 喜宣 (上智大学法科大学院教授)

「持続可能な地域であるための仕組みづくり」

1. 日 時 平成26年10月26日(日)【開場▶12:00/開会▶12:50】
2. 会 場 千葉大学西千葉キャンパス 人文社会科学系総合研究棟
(千葉市稲毛区弥生町1-33)
3. 参加費 1,000円
4. 運営体制 主催：ちば自治体法務研究会
後援：自治体学会、NPO法人江戸優り佐原まちづくりフォーラム
5. その他 申込締切日 平成26年10月16日(木) 定員：150名

申込及び照会は、<http://kokucheese.com/event/index/207104/> へお願いします。

但し、申込はFAX (0478-55-0237 小林 宛) でもお受けいたします。

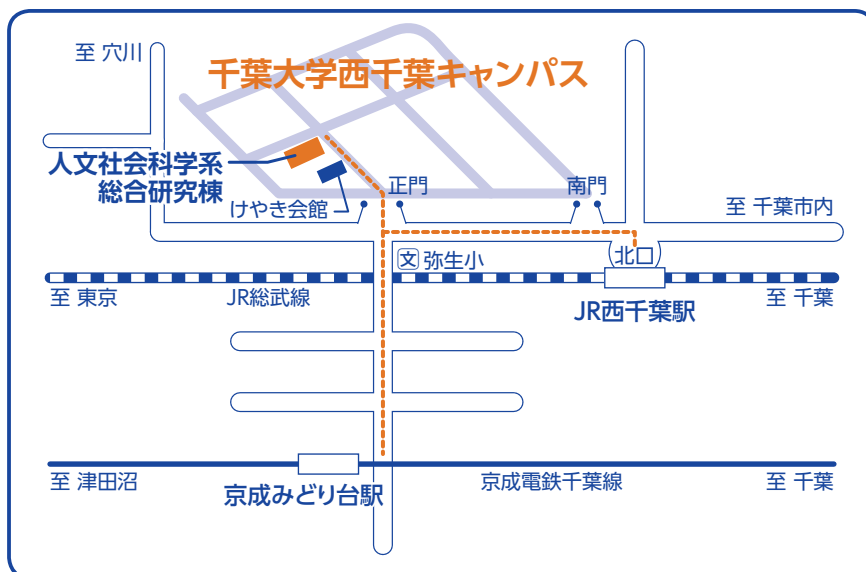
住所・氏名・所属・連絡先・希望分科会(電話またはメールアドレス)を記入して下さい。

(1分科会に集中した場合は第2希望とさせていただきます。)

また、参加費を10月17日までに次の口座に振込みをいただくと、当日スムーズに入場できます。

振込先 ● 千葉銀行佐原支店 普通預金口座 3085020
ちば自治体法務研究会 小林 博

会場案内図



※会場には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

【参加申込書】

◆住所	◆氏名
◆所属	◆連絡先
◆希望分科会	◎第1希望(第 分科会) ◎第2希望(第 分科会)

FAXでお申込みの場合は、0478-55-0237 ちば自治体法務研究会 小林 行